認定 NPO 法人　日本ミャンマー豊友会

JAMAHA

Nonprofit Organization
JAPAN & MYANMAR ASPIRATION HOYU ASSOCIATION

令和３年度　（第１３期）事業報告書
令和４年度（第１４期）事業計画書（案）

令和４年６月１４日
第１３回通常社員総会

設立趣旨書

この法人は、「日本とミャンマーの子供たちの未来のために」を活動理念に掲げ、子供たちが共生共存できる、豊かで平和な世界の実現を目指し 13 年前に設立されました。

現在の日本の子供たちが、夢と希望をなくし、閉鎖状況の中で個人主義に走る現状を憂い、ミャンマーの子供たちを通して、心の豊かさとは何かを考えてゆきます。またミャンマーの子供たちには、勤勉に努力して技術や心を磨いてゆく日本人の古来のものの考え方を伝えてゆきます。両者の交流を通じて、人間ひとりひとりの幸せを大切に考えて行動できる、品性豊かな国際人創りを支援してゆきます。

令和４年６月 14 日

認定 NPO 法人　日本ミャンマー豊友会
設立代表者　　近藤　秀二

令和３年度事業活動報告

令和３年度事業を終わるにあたって

先期はコロナ禍や、クーデターの勃発等で、現地訪問はできず、新たに雇用した現地の事務局員の ZawMin さんと ZOOM 会議を通じて懸念事項でありました PAO（Parami）職業訓練所寄宿棟の建設支援と村の保育所を一棟寄贈いたしました。

1. 子供の健全育成をはかる事業

①保育園建設支援

２０２１年１０月　シャン州 NGO　HLA 村　（インフレとコロナで完成が遅れる）
現在も水浄化槽が未完成。
ドナー　三谷原理事をはじめとした高校生によるクラウドファンディング
対象園児数　１００人　建設支援費用　12,700,000kyat　（100 万円）

②保育園メンテナンス調査

先期はシャン州の PAO 民族自治区に保育園の建設寄贈支援活動を始めて１１年になるので、支援が適切であったか？修理箇所が発生していないか？保育園運営上必要なものがないか？等の調査旅行を、和田理事と ZamMin 氏、現地 NGO の会長さんと担当 4 人で実施しました。
その結果、多くの保育園で、開園当初に寄贈したピアニカが壊れ使い物になっていないので、新

しいものが必要とのことでありました。園舎の修復の必要があったところもあり、また園庭に遊具が欲しいというような要望などが出されました。要望のあった三園で修理や園庭の遊具の設置をしました。いずれも開園時にご寄付をいただいた方々にお願いをして、再度メンテナンス費用のご負担をしていただきました。ピアニカについては次回訪問時に持ってゆくつもりにしております。

③奨学金支援

❶　トンテ孤児院

大学生のための「あしながおじさん」タイプの給付型奨学金支援は大学閉鎖の為中断いたしました。今期の新入学生は 9 月に報告が来ます。

❷　PAO 族 3 高校区における返済型奨学金　一校区 100 万円の基金で、事業が回っておりますが、次回訪問時に再度監査させていただこうと考えております。またこの基金が給付型に転換できるものかどうかも管理委員会の方と相談させていただきたいと考えております。

2.　ＰＡＯ職業訓練所の支援活動

私どもも異業種交流会を母体として出発しておりますので、PAO の NPO であるパラミの趣旨に賛同し、私どもの別途積立金を取り崩して送金をいたしました。厨房・食堂棟も出来上がっておりますので、すでに日本語のオンライン授業は N5 クラスが 5 月末で終了しております。10 名合格ということでした。6 月から新 N5 クラスが１５名の生徒さんで６月上旬に出発いたします。パラミの主宰で他のコースも開講しているようです。

３．インレイ湖畔環境保全事業

インレイ湖東岸 Maing Thauk 村にてゴミ焼却炉稼動率向上の指導及びゴミ分別教育は中断です。

４．　国際交流支援事業(視覚障害者支援事業)

ヤンゴンの国立チンミンダイ盲学校は昨年の 2 月以降ほとんど休校状態であり、授業は月に 1 回程度のオンラインで行う程度です。例年開催をしておりましたミャンマーでの全国セミナーも 2021 年に続き、今期も開催は未定です。

そのため現地滞在の日本人講師は一時帰国をすることになりました。

令和３年度総会/理事会開催報告

	日程	参加人数	場所	目的	議案
1	2021/4/1	9	ZOOM 会議	理事会	1.ミャンマーの新たな支援活動について ２.特定資産(積立)について
2	2021/5/23	10	ZOOM 会議	理事会	1. 令和 2 年度事業報告 2. 令和 3 年度事業計画案 3. 特定資産(積立)について 4. 役員変更について
3	2021/5/23	72	ZOOM 会議	総会	1. 令和 2 年度事業報告　承認 2. 令和 3 年度事業計画案　承認 3. 特定資産(積立)について　承認 4. 役員変更について
4	2022/1/19	8	ZOOM 会議	理事会	1. 緊急支援活動について 2. 新しい寄付の在り方について モノドネについて ３. PAO 職業訓練所の進捗報告

令和３年度決算報告

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表			
特定非営利活動法人　日本ミャンマー豊友会			［税込］（単位：円）
		令和　4年 3月31日 現在	
資　産　の　部		負　債・正　味　財　産　の　部	
科　　目	金　額	科　　目	金　額
【流動資産】		【流動負債】	
（現金・預金）		前受金	0
現　　金	43,922	流動負債　計	0
普通　預金	7,539,017	**負債の部合計**	0
現金・預金 計	7,582,939	**正　味　財　産　の　部**	
未収入金	10,000		
流動資産合計	7,592,939	【正味財産】	
【固定資産】		正味　財産	12,497,106
特定資産	4,904,167	（うち当期正味財産増加額）	2,303,949
固定資産合計	4,904,167	正味財産　計	12,497,106
		正味財産の部合計	12,497,106
資産の部合計	12,497,106	**負債・正味財産の部合計**	12,497,106

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人　日本ミャンマー豊友会　　［税込］（単位：円）

令和　4年 3月31日 現在

《資産の部》				
【流動資産】				
（現金・預金）				
現　　金			43,922	
現地（円）		0		
現地（チャット円換算額）	354550 ﾁｬｯﾄ	24,057		
本部小口現金（円）		18,403		
本部小口現金2（円）		0		
本部小口現金（ドル円換算額）	12 ﾄﾞﾙ	1,462		
普通　預金			7,539,017	
いちい信金		2,360,024		
ゆうちょ銀行		312,246		
郵便局　振替口座		2,096,230		
三菱UFJ銀行　中村公園前支		2,770,517		
現金・預金 計			7,582,939	
未収入金			10,000	
平井健司　令和3年度年会費		5,000		
山田克彦　令和3年度年会費		5,000		
流動資産合計				7,592,939
【固定資産】				
特定　資産			4,904,167	
いちい信金		4,413,095		
郵便局　振替口座		0		
三菱UFJ銀行　中村公園前支		491,072		
固定資産合計				4,904,167
資産の部　合計				12,497,106
《負債の部》				
【流動負債】				
流動負債 合計				0
負債の部　合計				0
正味財産				12,497,106

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

特定非営利活動法人　日本ミャンマー豊友会　　［税込］（単位：円）

	自 令和 3年 4月 1日　至 令和 4年 3月31日	
《経常収支の部》		
［経常収支の部］		
【経常収入】		
正会員会費収入	315,000	
賛助会員会費収入	0	
寄付金収入	6,324,632	
受取利息収入	79	
雑収入	0	
経常収入　計		6,639,711
【事業費】		
地球環境保全事業	0	
子供達の健全育成支援事業	1,726,576	
国際協力支援事業	2,236,020	
事業費　計		3,962,596
【管理費】		
広告宣伝費費	320,000	
通信費	10,290	
事務費	4,296	
雑　費	20,723	
管理費　計		355,309
経常支出計		4,317,905
経常収支差額		2,321,806
［その他資金収支の部］		
【その他資金収入】		
為替差益	0	
その他資金収入　計		0
【その他資金支出】		
為替差損	17,857	
その他資金支出　計		17,857
当期収支差額		2,303,949
前期繰越収支差額		10,193,157
次期繰越収支差額		12,497,106

財務諸表の注記

（注）使途等が誓約された寄付等の内訳

	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
国際協力のための事業	1,310,799	2,471,401	2,236,020	1,546,180	緊急支援含
子供たちの健全育成支援事業	955,272	2,873,231	928,203	2,900,300	保育園等のための資金
子供たちの健全育成支援事業	5,413,095	0	508,928	4,904,167	特定資産
環境保全を図る事業	335,391	0	0	335,391	
合計	8,014,557	5,344,632	3,673,151	9,686,038	

日本ミャンマー豊友会　**令和４年度事業活動　重点指針**

1. 命を救う医療、救援支援金の提供

先期になってすぐの 4 月 2 日から救援資金の募金を始めました。理事さんが各個人の友人にメールを送ってアピールするという手作り運動です。６月末で合計 300 万円近くの募金が集まり、ミャンマーの個人や組織に、５ルートを使って 3 回に分けて送りました。末端の組織も海外からの送金がチェックされている恐れが多分のあるのと、引き出しが一度に 200,000 チャット（約 15,000 円）ほどしかできないため、最初は用心深く実施していたために全額送金済みになるまでに約半年を要しました。

今期は外国系の企業が撤退ないし廃業が続いておりますので、就業が困難になる方が増加し、爆撃や放火が続いているため家屋の破壊が増大し、また物価の高騰が続いております。為替レートの変更（1 ドル 1200 チャットから 2100 チャット）や公定レートによる強制交換（1800 チャット）も始まっており、政治経済状況は混迷を深めております。庶民の人たちの生活状況は 10 年前あるいは 20 年前の状態に逆戻りしつつあります。ロシアによるウクライナ侵攻という新しい局面でミャンマー情勢は非常に見えにくくなっておりますが、生活と命の危機は確実に迫ってきていますので、いつ「非常事態」が各地に現出するかわかりません。

この 10 年間支援をつづけてきたトンテ、ウイッタカ、ドーピン等の僧院系の孤児院を中心に引き続き支援をしてゆきたいと考えております。

＊またミャンマーの地方の田舎で孤軍奮闘しておいでになる名知医師にささやかな寄金を定期的に寄せさせていただくことを計画しています。この基金は別途募金をお願いするつもりですし、11 月か 3 月にスタディーツアーが 催行できるのであれば現地へ訪問させていただきたいと考えております。（理事会未承認事項）

2. 保育園建設支援活動。

今期は JAMAHA ニュースでもお知らせ致しましたように、昨季の調査に基づく、二番手候補「WarTaw 村」の保育園を高校生主導のクラウドファンディングで支援をしております。第一回の送金は新たな確実な方法で、すでに先方の建設責任者の方に届いており、建設着工を確認して第二回送金を実施いたします。

また既存の保育園の開園時に贈呈したピアニカや紙芝居の追加等ソフトの提供が待たれています。補修メンテナンスの実施とともに、村人との新しい交流事業につながってゆけば大変うれしいことで、創造的な活動を展開に繋げてゆきたいものです。〈未調査７園、調査済み未着手４園〉

3. 奨学金貸し付け及び給付型奨学金

先期は学校閉鎖、今期も大学の開講予定がはっきりしていないため、受給希望者がどれくらいになるかなどは予測がついておりません。給付型に転換するに際し、財源が問題であることは一目瞭然です。ひとりの支給者と一人の受給者をマッチィングさせ、「あしながおじさん」として末永く支援してくださる仕組みにしてゆきたいと存じます。受給者の申告フォーマットと進級時のレーポートは必須とするような簡単な制度化を図ってゆきます。

4. 居住区の環境美化活動支援

ゴミ拾い活動の支援から始まったマインタック村の環境美化活動については、皆様もご存知のようにゴミ箱の設置から小型の焼成機の寄贈、試運転から二人の常雇も含めてテイクオフしたかのように見えました。しかしゴミの分別収集という点で村人の方々は慣れないために、様々な問題が発生し現在では、仕切り直しであります。できれば村落共同体のごみ処理のモデルとして実稼動にこぎつけていきたいものだと思っております。ゴミの仕分けで問題になっているところをもう一度整理し、今年度は仮予算として１８万円計上（重油代、バイト代）予定です（＋盗難にあった焼成機の部品代）。

5. 視覚障がい者支援活動

ミャンマーのニュースがウクライナ問題で消えてしまいましたが、クーデターから今も公務員を始め市民の不服従運動が続いており、ヤンゴン国立チンミンダイ盲学校は休校状況が続いています。視覚障害者のオンラインによる授業には課題が多く、充分な効果が出ていません。また今期の視覚障害者の全国セミナー（ヤンゴン、ザガイン）の開催も昨年に引き続き、予定が立っておりません。

協力団体であるジャパンハートの日本人スタッフ始め、ハートメディカルグループのスタッフも順次帰国の予定となり、今年度の活動は困難となりました。

NAGOMI を拠点とした視覚障害者への技術修得に対するトレーニングへの対応につきましては、活動の趣旨を共有することができたミャンマーの事業家に託すことになりました。

6. 職業訓練所の寄付講座について

当初予定では日本語、日本式介護講座、ミシン洋裁講座、機械機器修理講座、電気溶接講座等を日本人講師の下、必要経費を負担して開設する予定でした。このうち日本語講座はオンライン ZOOM 講座で始まり、ネット遮断により中断したこともありましたが、5 月下旬に N5 クラスの第一期生１０人が終了しております。第二期の集中コースは 15 人で 6 月 1 日開講です。両社合わせて 9 月に N４クラスをオンラインで行う予定です。介護、洋裁も講師陣を固めていたところですが、現在のミャンマー側の状況下では、講師の皆さんの安全面等で進展は望めません。実際は N4 クラスの終了間近の１２月上旬から、介護入門コースを 40 時間オンラインで開催する案が最も現実的です。来期は洋裁実践コースを企画しています。

ミャンマーと日本の子供たちの未来のために
NPO法人
日本ミャンマー豊友会

令和 4 年度事業活動　収支計画

収入の部

会費収入	700,000 円
寄付金収入	4,500,000 円

	雑収入	400,000円
	前年度繰越金（積立金含む）	12,497,106円
	合計	18,097,106円
支出の部		
	事業費	
	子供たちの健全育成事業	
	保育園維持管理費用	１,000,00０円
	新設保育園建設支援金	1,000,000円
	奨学金支給寄金（高校）	300,00０円
	（大学）	500,000円
	職業訓練所寄付講座資金	700,000円
	同上設備	300,000円
	スタディーツアー補助金	600,000円
	環境美化活動支援資金	180,000円
	予備費	500,000円
	（名知先生支援金含む）	
	雑費	100,000円
	小計	5,180,000円
	管理費	
	旅費及び出張費（現地）	200,000円
	広告宣伝費	300,000円
	通信費	30,000円
	事務費	50,000円
	雑費	20,000円
	小計	600,000円
	次年度繰越	12,317,106円
	合計	18,097,106円

役員改選

長年ご活躍をいただきました倉内博茂氏より辞任の意向が届きました。
倉内氏はミャンマーのクーデター発生により日本に帰国することができず、ミャンマーにとどまってみえます。この状況では日本ミャンマー豊友会の活動を支援することができないという辞任理由です。

また、他の現理事は留任とし、新たに水城実氏・大上道子氏を新理事としてお迎えする案を提出致します。

ミャンマーと日本の子供たちの未来のために
NPO法人
日本ミャンマー豊友会

主たる事務所

〒497-0004　愛知県あま市七宝町桂親田 2027(株式会社タケダ内)

TEL052-443-9907　　FAX：052-444-2227

ヤンゴン事務所

NGO 代表 NI HTWE

No.35/A,Boe Yar Zar Street Kyakkone Yankin Township Yangon Myanmar